

問3 女性が職業を持つことについて、あなたはどのように考えますか？

女性は職業を持たないほうがよい

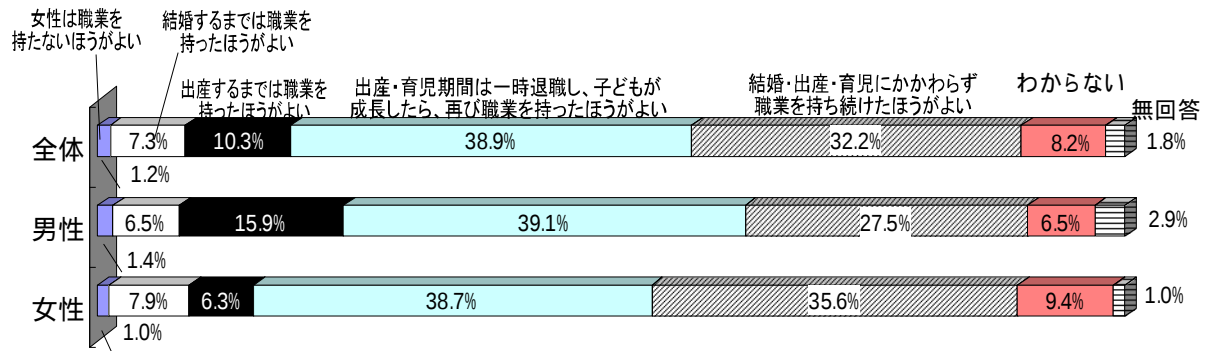
結婚するまでは職業を持ったほうがよい

子どもが生まれるまでは職業を持ったほうがよい

出産・育児期間は一時的に退職して子どもが成長したら再び職業を持ったほうがよい

結婚・出産・育児にかかわらず、職業を持ち続けたほうがよい

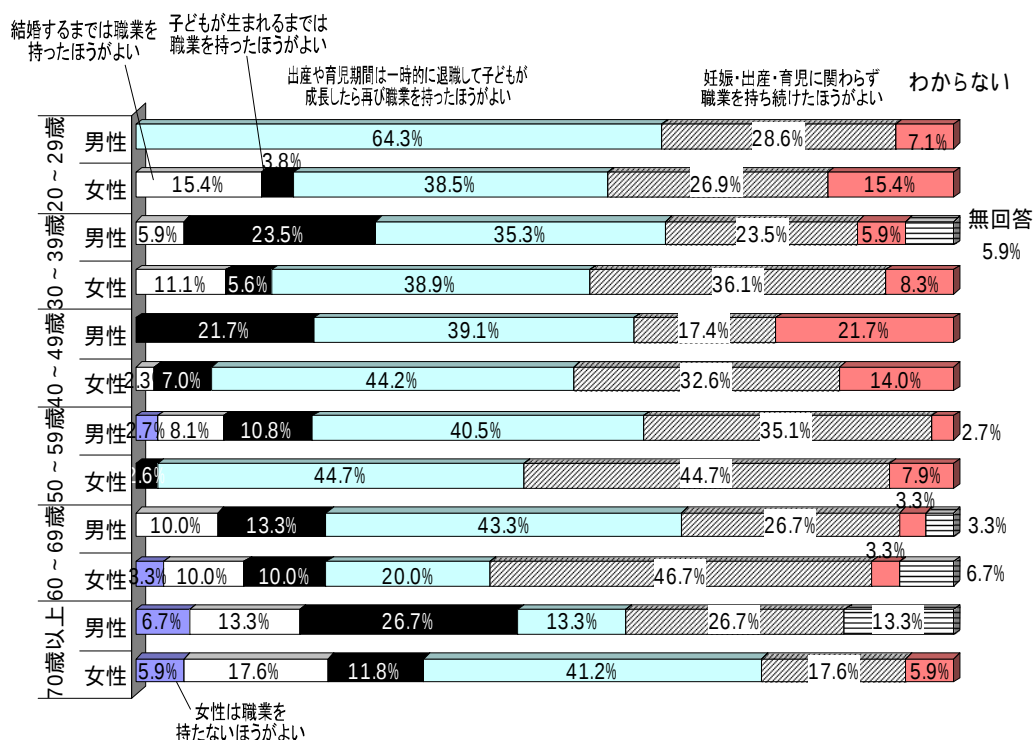
わからない



職業を持ち続ける（合計）方が良いと回答した割合は、女性 74.3%、男性 66.6%と高く、男女ともに女性が働くことに対して肯定的です。

一番多いのは、男女とも「出産・育児期間は一時的に退職して子どもが成長したら再び職業を持ったほうがよい」で、女性は 38.7%、男性は 39.1%が回答しています。次も男女同じで「結婚・出産・育児にかかわらず、職業を持ち続けたほうがよい」が女性 35.5%、男性 27.5%です。

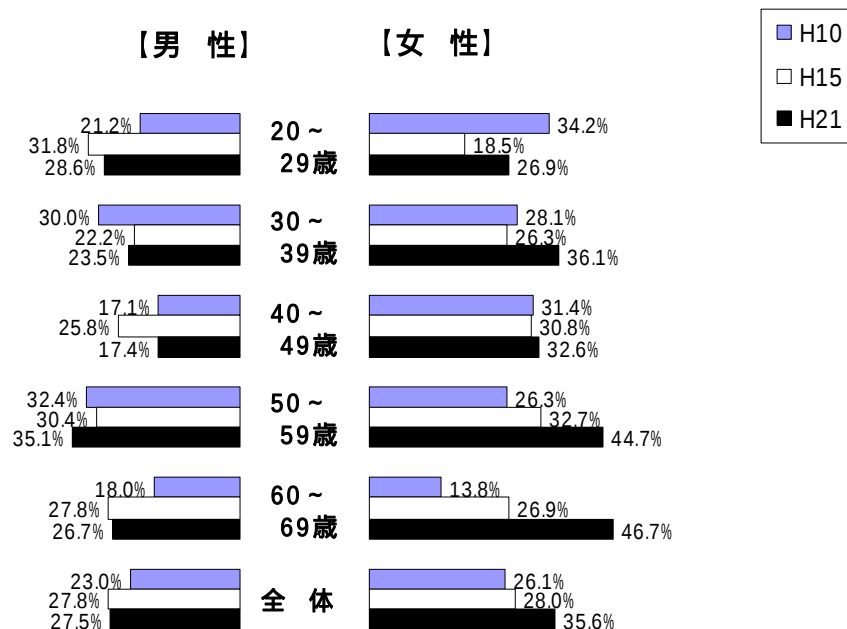
「結婚するまでは職業を持ったほうがよい」は女性 6.3%に対し男性 15.9%で、男性の方が多く望んでいます。



女性は年代があがるほど職業を持ち続けることを肯定する割合（ 合計）が高くなる傾向にあり、20 代女性の 65.4%から 50 代の 89.4%にまであがっていきます。更に「 結婚・出産・育児にかかわらず、職業を持ち続けたほうがよい」と回答した女性の割合は、20 代女性は 26.9%から 50 代で 44.7%、60 代で 46.7%と、ほぼ 5 割まで伸びています。男性で目立つのは 20 代で、92.9%が職業を持ち続けることに肯定的ですが、同年代の女性が 65.4%と意識の差があります。

「仕事はせず（辞めて）専業主婦に」（ 合計）と回答した人の割合は 30 代以上は男性の方が高くなっていますが、同世代の女性は「仕事を持った方がよい」と考えている割合が多く、意識の差が生じています。

【「結婚・出産・育児にかかわらず、職業を持ち続けた方がよい」の割合の比較】



平成 10 年、15 年度調査では男女ほぼ同じ割合でしたが、今回は男性が微減に対し女性は数値を伸ばし、意識の差が出ました。男性より女性の方が、女性の就業に対して積極的になっています。

女性は全世代で上がっています。中でも 50、60 代は 44.7%、46.7%と 2 人に 1 人が「持ち続けた方がよい」と考えています。特に 60 代は前々回調査では 13.8%から大きく伸びました。

男女間で意識の差が大きいのは、40 代と 60 代で、特に 40 代は女性の 32.6%に比べ男性は 17.4%と全世代・性別でも一番低く唯一の 10%台で、差が開いています。